

四谷の千枚田地元耕作者 (年齢)

丸山 俊明 (77) 丸山 功 (58) 高橋賀津男 (47) 金古 浩一 (46)
夏目 宏一 (65) 高橋 伸治 (68) 高橋 孝行 (60) 古田 太 (48)
今泉 雅男 (64) 今泉 良治 (72) 稲熊 富平 (44) 小山 孝夫 (53)
小山 泰弘 (63) 小山傳次郎 (63) 小山 秀夫 (66) 小山 柳二 (71)
松下 誠 (49) 小山 舜二 (66) 村雲 伸一 (54) 原田 佳治 (45)
丸地 光代 (65) 平均年齢 59 才 まだまだ若い!がんばるでのん♪

今年の主な行事

- ・ 市民の主張の会(1月21日 自然・人・未来「千枚田サミットがくれたもの」
～今、わたしたちができること～) 連谷小学校
- ・ 「食と緑が支える県民の豊かな暮らしづくり」県知事賞受賞(1月28日)
- ・ 奥三河芸能祭「はねこみ」披露(3月12日 於:新城文化会館) 身平橋共進連
- ・ 名古屋地理学会巡検(3月24日 棚田の現状や環境、保存の努力について) (舜)
- ・ 千枚田入り口周辺の草刈り(4月22日) 保存会
- ・ 「長篠合戦祭り」にタニシを奉納(5月5日 長篠城趾)
- ・ ヤニー先生(国際交流)学校田で児童と泥まみれになり代掻きを行う(5月8日)
- ・ 三河の山里ツーリズム(田植え、田の草取り、稲刈り、自然観察、餅つき)
三河の山里活性化事業実行委員会・県地域振興課主催 (舜)協力
- ・ みんなの奥三河(田植え、自然観察、稲刈り、餅つき)
新体験交流ガイド 県・市・やまびこの丘主催 田吾作協力
- ・ こども農学校(田植え、田の草取り、稲刈り等) JA 主催 高橋会長協力
- ・ みんなで灯そう千枚田(6月3日 棚田に600本のロウソクを灯す) お助け隊主催
- ・ NHK ウイークエンド中部 (石積と景観 6月10日放映) (舜)
- ・ 「豊かなむらづくり」農水大臣賞受賞(6月29日 現地調査) 連谷校区
- ・ 棚田ネットワーク会報6月号に「みんなで灯そう千枚田」を寄稿 (舜)
- ・ 東海市中学生の千枚田見学 鳳来寺の「山の家」に宿泊、訪れる(夏休み中)
- ・ 三遠地方民俗と歴史研究会巡検(8月13日 千枚田の石積と念仏踊り見学) (舜)
- ・ 千枚田と石仏散策(8月27日 岡崎市ウォーキングクラブ180名) (舜)ガイド
- ・ 「ふるさと水と土指導演」18年度活動支援として鍬、備中、唐鍬、スコップ、厚鎌、稲刈鎌等農具を県農水事務所建設課から支給される (舜)管理
- ・ 景観整備(9月3日 ふれあい広場の草刈り) お助け隊、保存会
- ・ 里山ウォーキング(9月7日 名古屋カルチャーセンター主催) (舜)ガイド
- ・ 第12回全国棚田サミット(10月6~7日 32名参加) 宮崎県日南市 坂元棚田
- ・ 支援活動受け入れのための準備(10月9日、14日 草刈り、地拵え) 保存会
- ・ アストラゼネカ社支援活動(11月1日 千枚田周辺の植樹、藁切り、藁撒き、石崖及びふれあい広場の草取りが行われた。この日、AZ社全社員3,000名は全国40箇所の棚田で支援活動を実施した) 田吾作、棚田っ娘、お助け隊、保存会対応
- ・ 愛知県教育長連谷小学校訪問(11月9日 県教育事務所長、市教育長ほか僻地校関係者20名 千枚田の現地において歴史、現状、環境について説明) (舜)
- ・ むらの伝統文化顕彰 身平橋の「はねこみ」が伝統芸能の部でデータブックに掲載
(美しいふるさと・国づくり推進事業:オーライニッポン・農水省主催) (舜)
- ・ お助け隊 制服、制帽新調(11月18日)
- ・ エコドライブラリー(11月18日「奥三河「味・走」選手権!」新城ラリー2006 関連事業 四谷の千枚田が第1チェックポイントになり湯茶、おにぎり接待)
協力:お助け隊、千枚田のおっ母さん
- ・ 連谷小学校「ふれあい教室」(11月26日) 校区住民が多数参加した。
- ・ 餅つき大会(12月10日) 田吾作主催 お助け隊協力

四谷の
千枚田だよ



第40号

霜被う千枚田の畦に幼かる
柔裏の白き蓬が光る
四谷 小山志ず子



餅つき大会

師走迫る十二月十日(日)、ふれあい広場で田吾作主催お助け隊協力の餅つき大会が開かれ、都市交流が図られました。



当日は、田吾作が有機無農薬で栽培した自慢の糯米「鈴原糯」でつきたての伸し餅や草餅、また、イノシシの焼き肉、手巻き寿司などを訪れた人達に大判振舞い、大変喜んで戴きました。

この催しも恒例となり、今年は「山里ツアーリズム、みんなの奥三河」の参加者も交え、二百人を越す大勢の方達で賑やいました。

ふれあい教室(収穫祭)

連谷小学校では十一月二十六日(日)、恒例のふれあい教室が校区の皆さんを招待して盛大に行われました。

当日は、子供たちが千枚田で収穫した糯米で餅をつき、訪れた校区の人達たちと一緒に餅つきをしたり、つきたての餅を食べたり、お年寄りが用意した昔の遊び「紙玉鉄砲、こま、おはじき、お手玉、ひも、折り

紙、ビー玉、竹とんぼ、紙飛行機、けん玉などで子供とお年寄りとの対戦で盛り上がり、時間のたつのも忘れるほどでした。

午後は学芸会で、舞台とスクリーンの掛け合い(二・二年生)、たった二人での演技(三年)、全校十一人での歌と楽器、当日は最高の演技ができました。



しめ縄

千枚田で「田吾作」が有機・無農薬栽培した稲藁が日本一の高さを誇る鳳来寺の傘杉と竹島の八百富神社(蒲郡市)のしめ縄として飾られました。

海老の中山さん入選!

中日新聞操業百二十周年記念「未来に残したい中部の風景」フォトコンテストに海老の中山晴男さんが「棚田の灯」と題して応募した作品が全国千二百六十四点の中から見事入選の荣誉に輝きました。

この、作品展は来年の一月十二日から十七日まで、富士フォトサロン名古屋で開催されます。

げなげな嘸

境場のおしゃもじ様

境場の道端の山際んとこに、どういふ云われがあるか知らんが「おしゃもじ様」つちゆう石があるだらあ、ありやあ、昔、子供が熱がでたり風邪を引いたりした時にのん・「豆を炒ってひとからあげるで、治しておくれましよう」ちゅって、炒った豆をおしゃもじ様に捧げて治してもらっただもんだげな・ふうくん、そいで、「ひとから」ちゆうのは何んなんだん・「ひとから」つちゆうのはのん、「食べんで全部

やる」ちゆうこつただげな・・・

上眞菰の繁蔵様

上眞菰の金比羅様のお御坂の横んとこにやあ、お祠があるだらあ・ありやあ、お祠があるだらあ・ありやあ、歯が痛い時にのん、お願いせると治るだそうだけなぞん・・・

諸石のイボ洗い

松下の池貝津のやあ、諸石ん所に「イボ洗い」つちゆうのがあるのを知つとるかん・昔しやあ、何でだか知らんが、何奴も此奴も、やたらにイボんみたいな物が出来りやがっただのん、そいで、イボが出来る「イボ洗い」の水でイボを洗うとイボが取れたもんだげな・・・

あの「イボ洗い」の水は上の山の仏岩山(ぶつがんざん)から染み出とるそりやあ、有り難い水だで、そいで御利益があるじゃあないずらかのん・・・

昔やあ、お医者様に行かんでもあつちこつちにある石神様に頼みやあ、病は治つたづらかのん・・・知らんが、そうだったずらあ・・・

行 平成十八年十二月二十日
鞍掛山麓千枚田保存会
発 文 責 小山舜二